

交流から協力へ

中国・江西省の環境対策支援

県とAMDAが連携

県は、AMDA(アジア医師連絡協議会、本部・岡山市)と連携し、友好関係の中国・江西省での本格的な環境保全対策の協力に近く乗り出す。大気などの汚染が進んでいるという同省に対し、これまでの「交流だけ」という枠を越え、自治体として一歩踏み出す海外支援を目指し、県は「現状をよく把握したうえで、早く方向性を見い出したい」としている。

同省は中国の南西部に「湖があり、歴史的には「中あり、三方を山に囲まれ 国革命の聖地」とも言われている。人口は約四千万

人で、面積は十六万七千平方キロメートル。北部には中国最大の淡水湖ボイサン湖がある。一九九二年六月に友好関係となった。数年前、

訪問したり、国際交流フェスティバルに招いたりするなどの交流を進めてきた。

関係をより発展させるため、昨年度には、AMDAと共催で、同省から環境保

全関係者を招いて対策会議を開催。その中では、県側から水島コンビナートにおける公害対策状況が示され、同省側からは石炭の消費による大気汚染や水質汚濁の現状が報告された。

今年、これらの経過を踏まえ、同省側からの要望を含めて検討。今秋までに具体的な方向を決め、会議を開くなどして、協力の内容を詰めていく。